

チュラロンコーン大学薬学部長（タイ）が齋藤学長を表敬訪問

平成22年7月26日（月）、タイのチュラロンコーン大学薬学部長のPintip Pongpech教授一行が齋藤学長を表敬訪問した。

今回、一行は大学間交流協定の更新署名、薬学研究院との部局間学生交流協定の締結、および今後の教育研究交流等について協議を行うために、千葉大学を訪問した。両大学間交流は1990年に締結した薬学研究院との部局間学術交流協定に始まり、その後2000年には大学間交流協定を締結し、約20年間毎年活発な教育研究交流が続いてきた。この間の相互の教職員・学生の派遣・受入の実績は約300名にも及ぶ。

チュラロンコーン大学は1917年に設立されたタイで最も古い歴史を持つ大学で、タマサート大学などと並びタイで最高ランクに位置付けられている。キャンパスはバンコク市街に位置し、約30,000人の学生が18の学部と大学院で学んでいる。

表敬にはチュラロンコーン大学側から管理担当副学部長 Linna Tongyonk 博士、研究担当副学部長 Parkpoom Tengamnuay 博士、千葉大学側からは山本理事、安藤副理事、西田薬学研究院長、五味田国際企画課長が同席した。

表敬では千葉大学概要説明に続いて、ダブルディグリーや千葉大学短期留学プログラム（J-PAC）について意見交換が行われた。その後、和やかな雰囲気の中、大学間交流協定更新の署名式が行われ、その後、薬学部に場所を移して部局間学生交流協定の締結が行われた。協定締結により、今後の両大学間の更なる交流が期待される。



前列右から2番目：Pintip Pongpech 薬学部長、右端：Parkpoom Tengamnuay 博士
後列左端：Linna Tongyonk 博士